	シリーズ名	食品成分による生活習慣病の予防効果および創傷治癒促進効果の作用メカニズムの解明とその応用戦略に関する研究
	氏名・所属・役職	小島 明子・生活科学研究科・准教授

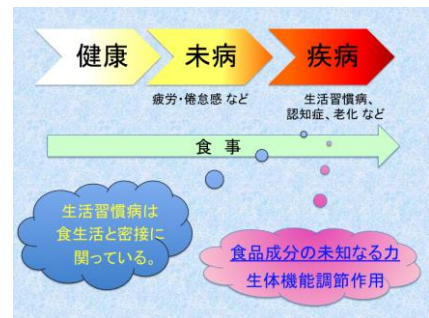
### <概要>

「食と健康」は切っても切り離せないものです。一方では、生活習慣病の発症は食生活と密接に関与しています。しかしながら、食品成分が有する疾病予防や病態改善効果を見出すことは、健康増進や健康長寿の一端を担うことができます。

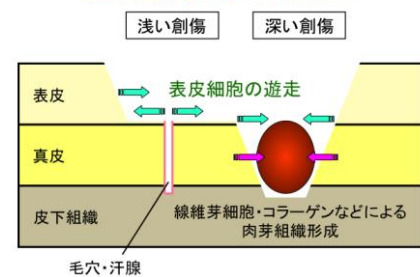
本シリーズでは、細胞レベルおよび動物レベルの疾患モデルを用いて「食品成分による生活習慣病（ガン、炎症性肝疾患、肥満、神経変性疾患〔アルツハイマー病、パーキンソン病〕）の予防効果の作用メカニズムの解明とその応用戦略」を研究し、機能性食品への開発に応用しています。

皮膚の老化によって生じる肌の皺やたるみは、男女を問わず永遠の問題です。さらに、皮膚の創傷を早く治すことは、健康長寿で若さを保ち、かつ、QOL改善・向上にもつながることが示唆されます。これらは、皮膚の線維芽細胞のコラーゲンやエラスチン産生能および表皮角化細胞の遊走能に大きく影響を受けます。そのため、**皮膚の線維芽細胞自身のコラーゲンやエラスチン産生能を亢進させること、角化細胞の遊走能を亢進させること**が重要な役割を果たします。

本シリーズでは、「皮膚のアンチエイジング効果および創傷治癒促進効果の作用メカニズムの解明とその応用戦略」を研究し、化粧品や医薬品への開発に応用しています。



### 創傷治癒の機序



### <アピールポイント>

エビデンスに基づいた作用メカニズムを明らかにしていることであり、製品化に向けても他の商品と差別化できるという優位性をもたせることができます。

### <利用・用途・応用分野>

健康食品、サプリメント、化粧品、医薬品など。

### <関連する知的財産権>

1. コラーゲン産生能向上剤（特許第 4670040 号）
2. コラーゲン産生促進剤（特許第 5207227 号）
3. アルコール性肝障害予防または改善剤（特許 5403538 号）
4. コラーゲン産生促進剤（特許第 5577489 号）
5. コラーゲン産生促進剤、光老化防止剤、保湿機能改善剤および皮膚用剤組成物（特許第 5686365 号）
6. 抗肥満剤（特許第 5737889 号）
7. 線維芽細胞増殖促進剤、角化細胞遊走・増殖促進剤、エラスチン産生促進剤、ヒートショックタンパク質 47 産生促進剤、 $\alpha$ -平滑筋アクチン ( $\alpha$ -SMA) 産生促進剤、及び光老化防止剤（特許第 5787285 号）
8. 角化細胞遊走・増殖促進剤を含む、創傷治癒剤、および褥瘡（床ずれ）治療薬（特許第 5787246 号）
9. サーチユイン遺伝子活性化剤（特許第 5930784 号）
10. 肝炎予防又は治療剤（特許第 5930814 号）
11. プロテアソーム活性化剤（特許第 6122652 号）
12. コラーゲン産生促進用、エラスチン産生促進用および/またはケラチノサイト遊走促進用組成物（特許第 6238190 号）
13. 脂肪細胞分化の抑制用、脂肪細胞の脂肪蓄積量低減用および/または脂肪細胞のアディポネクチン分泌促進用組成物（特許第 6156795 号）

### <関連するURL>

<http://kojima-yuasa-lab.sakura.ne.jp/>

### <他分野に求めるニーズ>

成分分析技術や臨床試験

キーワード	ガン、炎症性肝疾患、肥満、アルツハイマー病、パーキンソン病、アンチエイジング、皮膚線維芽細胞コラーゲン・エラスチン産生能、角化細胞遊走能
-------	--